

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2773	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	地域福祉課	課長名	梅沢 道雄	
平成19年度部名	福祉部	課名	地域福祉課	課長名	甘利 賢治	
事務事業名	社会福祉基金運用事業					
予算上の事務事業名	社会福祉基金運用事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11120	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくりまします					
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進					
施策名	第2施策 地域で助け合う福祉活動の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	相模原市地域福祉計画			基本理念「わたしたちで支えあう 福祉のまちをめざして」 基本目標2「わたしたちの参加と連携により福祉コミュニティづくりを進めます」 【主な施策】福祉コミュニティの形成の推進（福祉コミュニティ形成モデル事業の実施）		
計画年次	平成17	年度～	平成21	年度		
4 事業形態の区分	計画の策定・推進			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
社会福祉基金の運用収益等により、平成17年3月に策定した「相模原市地域福祉計画」に基づく重点的な取組み（「福祉コミュニティ形成モデル事業」「福祉活動支援システム構築事業」）の実施や地域での福祉活動の支援などを行う。				市民		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
<p>福祉コミュニティ形成モデル事業の実施（3,500千円） 市内の2地域（光が丘地域、東林地域）において、地域住民による「地域福祉推進会議準備会」による検討を経て、「地域福祉推進会議」を設置し、支えあいの地域づくりをめざし、地域の福祉課題の発見・共有・解決の仕組みづくりについて、検討を進めている。（相模原市社会福祉協議会へ委託）</p> <p>福祉活動支援システム構築事業の実施（1,300千円） 福祉活動支援推進委員会において、平成17年度に検討した「福祉学習支援システムの構築」を受け、福祉活動の担い手の育成に向けた「人材育成支援システムの構築」について検討を行った。（相模原市社会福祉協議会へ委託）</p> <p>社会福祉基金運用事業補助金の交付（7,859千円） ・交付先：相模原市社会福祉協議会 ・対象事業：福祉学習推進事業、給食サービス活動助成事業、地区ボランティアグループ活動助成事業等</p>						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	11,432	10,081	12,659	12,546	8,746	
一般財源	6,119	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	5,313	10,081	12,659	12,546	8,746	
人件費の合計	33	198	495	495	495	
事業コスト合計	11,465	10,279	13,154	13,041	9,241	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	福祉コミュニティ形成モデル事業			対象名称 と単位	会議等開催回数(回)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	1,444	3,500	3,500	3,100	
対象数	0	5	13	14	0	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	288,800	269,231	250,000	#DIV/0!	
前年度比		#DIV/0!	0.93	0.93	#DIV/0!	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	地域福祉推進会議等開催回数（回）	指標式と指標の説明	福祉コミュニティ形成に向けた検討を行う会議の開催回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	5.0	13.0		
目標	0.0	5.0	12.0	14.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	100.0	108.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	モデル事業実施地区数（地区）	指標式と指標の説明	福祉コミュニティ形成モデル事業実施地区数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	2.0		
目標	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民の福祉への理解・意識の向上が、モデル事業による実践を通じて促進されることが期待される。また、モデル事業が目指す地域の福祉課題の発見・共有・解決に向けたしくみづくりを他地域へ波及させる必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
・市民の福祉への理解・意識の向上の促進 ・地域の福祉課題の発見・共有・解決に向けたしくみづくりの波及と支援の充実			・より有効な福祉への理解・意識向上のための方策の検討 ・地域の福祉活動を支援する方策の検討 ・モデル事業を他地域へ波及させる方策の検討		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			